

### 創立60周年記念 つなぐプロジェクト 並木選手×前田通訳 OB対談 「好きを仕事に ～プロ野球界で働くということ～」

12月19日、東京ヤクルトスワローズ 並木秀尊選手(21年済卒)が本学を訪れ、山路朝彦学長への表敬訪問の後、天野貞祐記念館大講堂にて、読売ジャイアンツ通訳 前田悠也氏(22年英卒)と対談を行った。司会は日本テレビアナウンサー 蛭原哲氏(97年律卒)が担当。約200名の来場があり、観客に仕事観や今後の展望について語った。本イベントは地域の方にも開放し、トークイベントの最後にはプレゼント抽選会やフォトセッションが行われた。



### 第11回経済学部 プレゼンテーション・コンテスト 開催報告



11月15日、第11回経済学部プレゼンテーション・コンテストが、天野貞祐記念館大講堂において開催された。10件の応募があり書類審査を通過した8グループがプレゼンテーションを行った。厳正な審査の結果、最優秀賞には山森哲雄(済)ゼミ・チーム盆栽の「臓器提供の意思表示率向上のための方策～意思表示欄に着目して考える～」が選出された。本選での各グループのプレゼンテーションは、日頃の活発な調査・研究活動の様子が窺えるものばかりだった。

意思表示欄に着目して考える～」が選出された。本選での各グループのプレゼンテーションは、日頃の活発な調査・研究活動の様子が窺えるものばかりだった。

### 気象予報士試験講座の受講生募集

気象予報士試験の短期合格を目指す講座をリーズナブルな価格で受講できます。NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」で気象考証を担当した齊田気象予報士が、100人以上の気象予報士試験合格者を輩出した「てんこロ。」を主催する佐々木気象予報士とタッグを組んで講座を担当します。基礎から始まりますので、初めて天気や気象の勉強をする人でも安心して受講できます。学内での講義と、web動画のオンデマンド配信があり便利です。2024年4月のガイダンスに是非参加してください。 お問い合わせ先:経済学部長室 048-946-1929

### 長期留学終了者による 留学成果報告会を開催

10月23日～27日、国際交流センター主催で長期留学終了者による留学成果報告会が開催された。留学成果を可視化することで、留学生本人には、次のステップに向けての新たな気づきを得る機会として、また留学を考えている学生には、海外体験について考えるきっかけを提供する場として、本報告会は実施された。

長期留学終了者は、留学終了後の事後研修を通してまとめた留学成果に加え、自身の能力の伸長や課題、今後の学修計画などを発表し、多くの学生にとって今後の可能性を広げる貴重な機会となった。



### 国立高雄科技大学との 学術交流協定締結

本学は10月11日付で、国立高雄科技大学と学術交流協定を締結し、本学の台湾における協定校は3校目となった。

国立高雄科技大学は、国立高雄応用科技大学、国立高雄第一科技大学、国立高雄海洋科技大学が合併して2018年に設立された、台湾高雄市に本部を置く台湾最大規模の国立科技大学である。合併した3大学の長をを活かした多様な専門課程を有し、学生のニーズに合わせた質の高い教育を提供している。学部の1つである外語学院にはドイツ語学科も設置されており、今後の活発な交流が期待される。

学生の交換留学募集は、2024年度秋学期派遣から予定。



### 読書人カレッジ2023を開催

11月15日に読書人カレッジ2023を開催した。今回は、東京大学名誉教授/東大EMP講師の小林康夫氏を講師にお迎えし、「本、国境を超えるために」というテーマで、ご講演いただいた。

小林氏はまず、自分の宝物となるような「価値」に出会うことの重要性について説明。そして、その手助けの一つとなるのが本であり、若いうちに読書を通して生まれる自分だけの「感覚」こそが、これからの人生において大きな財産になるとお話しになった。

参加した100名余りの学生と教職員は、講演に熱心に耳を傾け、質疑応答も活発に行われた。



### 草加市・獨協大学基本協定 変更協定書締結式を開催

11月8日、獨協大学コミュニティスクエアにおいて、「草加市・獨協大学基本協定変更協定書締結式」が行われた。草加市と本学は、昭和45年の大学公開講座を端緒として連携事業が始まり、平成19年には「草加市・獨協大学協働宣言」及び「草加市・獨協大学基本協定書」の調印を行うことで、豊かなまちづくりに向けて、様々な分野での連携が図られてきた。長年の歴史の中で培われてきた相互の連携関係を生かし、世界共通の持続可能な開発目標であるSDGsの達成について、更に連携を深めていくことを目的として「基本協定」の変更協定書の締結を行った。



### 次期学長予定者に前沢浩子教授 今月の理事会で正式決定

山路朝彦学長の任期満了に伴う学長予定者選挙が12月13日に行われ、前沢浩子教授が学長予定者に選出された。同日行われた全学教授会では、前沢教授を次期学長として理事会に推薦することが承認された。前沢教授は、外国語学部英語学科所属。89年津田塾大学大学院文学研究科博士課程英文学専攻単位取得満期退学。06年獨協大学外国語学部助教授、11年外国語学部教授。

役職歴は、17～19年英語学科長、20年から現在まで国際交流センター所長。

1月25日に行われる理事会で承認されると、前沢教授は2024年4月1日付で第12代学長に就任することになる。任期は2028年3月31日まで。



### 第34回獨協国際ナショナル・フォーラム開催 「カーボンニュートラルと住宅、建築物、都市」

12月8日、9日の両日、第34回獨協国際ナショナル・フォーラムがオンライン形式で開催された。本フォーラムでは、脱炭素時代の住宅、建築物及び都市の分野におけるカーボンニュートラルをめぐる、国内外の専門家がそれぞれの知見を交換することで、関連する政策推進や国際協力のあり方について考える場となった。

コーディネーターは倉橋透経済学部教授(写真左下)が務め、計190件の参加登録があった。



### 獨協大学環境週間 “Earth Week Dokkyo 2023～Winter～”開催

12月4日から9日まで、“Earth Week Dokkyo 2023～Winter～”が開催された。期間中は、「福島県復興支援物産展」、学生団体THE Meによる「当事者の人生を歩んでみよう LGBTQ人生ゲーム」など学内各所で多くのイベントが行われた。

また、施設事業課、石本建築事務所、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社と毎月実施している「省エネ推進会議」を公開し、米山ゼミ「地球温暖化防止プロジェクト」メンバーの他、Earth Week Dokkyo実行委員会の学生が集まり、キャンパスの省エネについて意見交換をした。

